

インタビュー

未来の教訓に

東日本大震災後の2011年5月に始めた防災特集「備える 3・11から」は連載200回を迎えた。02~11年の「東海地震特集「備える」を合わせると計300回、20年の長期連載となる。災害や防災をどう伝えれば、命を守ることができるのか。今回は特集として「伝え方」をテーマに、さまざまな伝え手とともにインタビューと座談会を通して考える。

ス テ
映画「きくえなかつたあの日」で、津波が来襲した時の夫婦の対話を書く。夫は「さうよつて想ひてさうかば。東日本大震災の当日は福島県内にいた。とて海が吹つたが、私は耳が不自由で聞こえなかつた。地震と気象が分からなかつた。その夜、津波が来たことを悟つて津波が来前の海だ。だんだん初めてだ」と言つた。毎日見る震災のニュースでも聞こえない人たちの惨状が、ほんとうでなかつた。自分に見えた。いつ思い、あれだけ後は災厄地獄へ。あれだけ後は災厄地獄へ。警報が聞こえず、別の人車に乗り、乗せられていつのまにか助かつた。夫婦の夫婦の対話を書く。夫は「さうよつて想ひてさうかば。東日本大震災の当日は福島県内にいた。とて海が吹つたが、私は耳が不自由で聞こえなかつた。地震と気象が分からなかつた。その夜、津波が来たことを悟つて津波が来前の海だ。だんだん初めてだ」と言つた。毎日見る震災のニュースでも聞こえない人たちの惨状が、ほんとうでなかつた。自分に見えた。いつ思い、あれだけ後は災厄地獄へ。あれだけ後は災厄地獄へ。警報が聞こえず、別の人車に乗り、乗せられていつのまにか助かつた。夫婦の夫婦の対話を書く。

映画監督 今村 彩子さん(43)



いまむら・あやこ 名古屋市出身、在住。愛知県立豊橋蠶（ろう）学校から初めて愛知教育大に進学し卒業。米国に留学し映画製作を学ぶ。2021年製作のドキュメンタリー映画「さこねえなかったあの日」は文化庁助成劇場にて優秀賞を受賞。

ケンジンやおのるのむかわ
手話で筆談がなされ
ではなく、その他の背景歴史
を知ることがある。
災害に備えためには普段
から学習をさせ
書類を取扱
とが大事だ。
相手のことを想って
て（流派の）キャッチボールが
できなければ、間違えないように
なんがルールを越えたら警告止め
てもらわなければならぬ。地元は
本当に立派な方ですね。地元の
防護訓練に参加するのも大好
事。間違えな人がいたり、間違
ついてしまったりして落胆す
るチャレンジばかり。
一災害や防災をじぶんとする
か。
私自身の反省あるが医師た
も間違ってはいけない。当初は
困ったときにほかに近づい
た。でも困つてから近づくなら
でいいのかとも思われる。
そのまま近づいて医師を懲ら
しきるだけでもいいと思う。

ステレオタイプ 壊さなきせ

いに届いてるなんまだといふこと。
それにつかせてくれた。
一聴覚障害者の災害対応は
改善しているか。
ハサウエーハンマーの事もかわ
れていた時代もあり、電話で連絡す
きない人もいる。中途失聴とか
片耳失聴とかの人は、「コミュニケーション」とかの仕方もかわ
る。三舌の言葉が混ざる事もあ
る。

A vertical photograph of a lone tree standing on a small island in a lake at sunset. The tree's reflection is clearly visible in the calm water below. The sky is filled with warm orange and yellow hues from the setting sun.

東日本大震災から11年を迎える。朝日を浴びる「奇跡の一本松」=3月11日、岩手県陸前高田市で

インタビューと座谈会の詳報（字幕付き動画）は、本紙の定期購読向けインターネットサービス「中日新聞プラス」（登録無料）で見ることができます。今村彩子さんのインタビューは手話通訳付きです。

興人事で、いよいよ町なの、大
人暗に詰め、しないので、
未来を描き、教訓を
語つてないな、子もたまには
あんな風に思つた。
失敗談記録は大事、失敗こそが
次につながる教訓にして
その重要性、妙な意味付はしな
くていいのよ。自分で思ひ立
ては被虐最小限抑えられる
といふ心象淡々と覺えておけば
目、それで
テーマ。
それを経
て、小説だからそこは言わないし
未来を描く
年に生まれ
歴は、(復)
の責任で踏み込むことができる。読
は、
ノンファンションでは確認がない
と書けないことが、小説だと書き手
のいるが、普通のう道筋のうわけか
人に伝え、残すところある。の力を信じ、未来につなげてきま
い。

第1回		津波①	ホルテ
2	津波②	避難所が災	緊急報速報
3	つり天井	巨大地盤	基礎知識
4	波状化	巨大津波	家具の上面
5	先人の教訓	津波の歴史	自宅耐震化
どう説く?		波状化史	耐震化
7	誘発津波	79年火の大史	津波の原因
8	防災無線	90年東北大震災	津波の現象
9	携帯電話	95年鹿児島地震	津波の避難
10	超高層ビル	96年弱地盤	被災者による
海事困難		11. 災害地名	高齢者の恐怖
12	防潮堤	12. 地下鉄走行	雪国の寒い夜
13	避難道	13. 震度2強	彼らの心
14	避難所①	14. 震度2強	彼らが口に
15	避難所②	15. 援救活動	避難力強調
16	震度調査	16. 中小企業	消防隊活動
17	防災情報	17. 先輩選手	津波の現象
18	防災報道	18. 先輩選手	津波の現象
19	外国人	19. 先輩選手	津波の現象
燃料不足		20. 被災者による	被災者による
21	障害者①	21. 高齢者の恐怖	高齢者の恐怖
22	障害者②	22. 雪国の寒い夜	雪国の寒い夜
23	朝の大噴火	23. 彼らが口に	彼らが口に
24	こんでんこ	24. 避難力強調	津波の現象
25	震度と現景	25. 津波の現象	津波の現象
26	津波警報	26. 後悔性者	後悔性者
27	自分である	27. 分かり合える	分かること
28	企業は①	28. 子ども①	子ども①
29	企業は②	29. 子ども②	子ども②
30	ベット	30. 土砂災害	土砂災害
予知可能?		31. 江戸の知恵	江戸の知恵
32	人気投票	32. 朝日新聞	朝日新聞
33	人気投票②	33. 勇氣と結婚	勇氣と結婚
34	人気投票③	34. 先見の明	先見の明
35	医療は①	35. 明智判断	明智判断
36	医療は②	36. 車で避難車	車で避難車
37	津波避難①	37. 車で避難車	車で避難車
38	津波避難②	38. 車で避難車	車で避難車
39	発見事故	39. 記者との年	記者との年
40	橋高木屋	40. 救助	救助
41	津波恐慌	41. 大名滅災論	大名滅災論
停電		42. 学校避難	学校避難
43	電気震度	43. 緊急報速報	緊急報速報
44	火災対策	44. 基礎知識	基礎知識
45	トイレ	45. 家具の上面	家具の上面
46	トイレ②	46. 自宅耐震化	自宅耐震化
47	道路の難	47. 震度記	震度記
48	地盤保険	48. 高層ビル	高層ビル
49	社福筋	49. 川の堤防	川の堤防
50	避難比	50. 津波の現象	津波の現象
備蓄品		51. 土砂災害	土砂災害

「備える」の
過去記事は、こちらで



(c) 中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています